

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 腎移植後拒絶反応におけるエクソソームと抗自己抗原抗体と抗ドナーHLA抗体の役割』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 腎センター 職位・氏名 院内講師・板橋淑裕

### 【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は腎移植におけるエクソソームの役割を解析することを目的とした研究に利用します。

エクソソームとは、体の免疫学的な情報を伝達する物質として知られており、さまざま細胞から放出されます。このエクソソームがもつ情報に移植腎を攻撃するドナーに対する特異的なHLA抗体や、自己抗原を攻撃する抗体が含まれていることが知られています。

この研究で得られる成果は、拒絶反応を早期に発見する指標(バイオマーカー)の発見につながります。

### 【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

### 【研究に用いられる試料・情報】

試料:血液

情報:病歴、移植腎生検結果、移植腎機能

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

### 【試料・情報の利用方法】

血液中の自己抗原に対する抗体やエクソソームを基礎医学実験を用いて検出し、その結果を診療上、得られた医療情報と照らし合わせて、拒絶反応の有無や、移植腎生検結果(移植腎の組織学的な炎症の程度や、荒廃の程度と関係があるかどうかを検討します。

### 【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2023年12月より利用を開始します。

### 【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院 病院長 瓜田 純久

### 【試料・情報の取得方法】

対象者:2001年4月～2023年10月までに東邦大学医療センター大森病院

腎センターにおいて、20歳以上の腎移植後免疫抑制療法を受けた方のうち、血清使用の包括同意に賛同された方

方法:カルテから抽出したデータおよび試料を用いた基礎医学実験のデータの解析をします。

**【研究組織】**

代表施設名: 東邦大学医療センター大森病院 研究代表者: 板橋淑裕 役職: 院内講師

**【利用する者の範囲】**

東邦大学 医学部 免疫学講座 田中ゆり子

東邦大学 医学部 病理学講座 三上哲夫

**【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】**

東邦大学医療センター大森病院 腎センター 板橋淑裕

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2023年12月31日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学医療センター大森病院 腎センター

職位・氏名 院内講師・板橋淑裕

電話 03-3762-4151 内線 6757